

適正利用・エコツーリズムワーキンググループの経過報告・今後の予定

1. 令和7年度適正利用・エコツーリズム検討会議の議論

第1回検討会議を令和7年10月30日（火）に開催した。主な報告内容及び指摘事項は下記のとおり。

(1) 個別部会からの進捗報告

- ・ 厳冬期の知床五湖エコツアー事業、知床五湖利用調整地区の運用、カムイワッカ地区の取組状況についてそれぞれ報告がおこなわれた。

(2) 各機関からの進捗報告

- ・ 夜の知床五湖における星空観察事業、遺産登録20周年記念事業、国立公園ならではの宿泊施設における試行的取組についてそれぞれ報告が行われた。

(3) インタープリテーション全体計画の進捗について

- ・ 知床の価値を伝えるストーリーブックの作成等、今年度の事業計画と来年度以降の展開予定について報告が行われた。

(4) 知床エコツーリズム戦略の見直しについて

- ・ WG 及び検討会議の役割分担の見直しや、エコツーリズム戦略に紐づく既存計画の整理方針について説明。策定当時からの変化を踏まえた戦略の更新のみならず、知床らしい良質な自然体験やあるべき利用の姿といった項目も追加すべきという指摘があった。

(5) その他個別事項

① 羅臼岳におけるヒグマ人身事故に関する検証の方向性

② イウウベツ川におけるヒグマ問題対策状況について

- ・ 8月に羅臼岳で発生した人身事故の検証対応予定及びイウウベツ川での対策状況について報告が行われた。

2. 今後の会議運営

- ・ 第2回適正利用・エコツーリズム WG：令和8年3月10日 斜里町
- ・ 第2回適正利用・エコツーリズム検討会議：令和8年3月10日 斜里町

以上